

第2回 岩国市中心市街地活性化協議会 ワーキンググループ会議 会議録

日時 令和6年9月24日（火）13時30分～14時00分

場所 岩国市役所4階 41会議室

議事

1. はじめに
 - ・第1回WG会議内容の共有
2. 協議事項
 - ・課題の抽出及び整理について
 - ・その他

配布資料

- ・次第
- ・ワーキンググループ名簿
- ・ワーキンググループ会議 資料

議事の経過

1. はじめに
 - ・第1回WG会議内容の共有

（事務局より、第1回WG会議内容の共有）

4月に行われた中心市街地活性化協議会において、現在進行中の第2期中心市街地活性化基本計画が本年度末で5年の計画期間を満了するため、継続して第3期基本計画の策定を行うことが承認されており、前回のワーキンググループ会議においては、第3期計画までの必要な協議・調整は本ワーキンググループを設置し、(株)街づくり岩国を中心に構成することが決定され、同時に、(株)街づくり岩国の代表取締役がワーキンググループ会議のリーダーとして選出された。

協議事項では、第2期計画の検証及び継続掲載について、進捗状況の説明や、第3期計画策定までの体制やスケジュールの確認を行った。今後は、中心市街地における課題の抽出や整理（本日の議題）を行った後に、第3期計画の素案を作成し、最終的には中心市街地活性化協議会へ上程し承認をいただく予定である。

また、委員の皆様からのご意見として、空き店舗や駐車場が増えてきているが、多くの人が集う、魅力のある場所にしていくには、限定的な取組だけでなく柔軟性を持って、メンバーがある程度同じ意識を持って取り組むことが必要であるというご意見や、岩国駅前南地区第一種市街地再開発事業の完成を視野に入れて、計画に盛り込む必要があること、また再開発事業が進むと問い合わせ等が増えることも想定されるため、問い合わせ等には街づくり岩国の方で情報集約をできるとよいというご意見もいただいた。その他、マンション建設により人口増が見込まれるため、単に商業活性化だけでなく、人が住んで交流するということも考慮しながら計画に盛り込む必要がある等のご意見をいた

だいた。

2. 協議事項

・課題の抽出及び整理について (事務局より資料に沿って説明)

- リーダー ただ今の説明について、ご質問やご意見はあるか。
- 委 員 資料 P. 40 取組課題①に「まちの特色を活かし」とあるが、特色は何か具体的に羅列したものはあるか。
- 事 務 局 資料 P. 39 の活かすべきものにまちの特色やポテンシャルとして、「多様な都市機能が集積する利便性の高さ」、「J R 岩国駅を中心とした交通利便性の高さ」、「外国人が多く訪れる国際色豊かな環境や個性的な店舗など」を挙げており、これらが今のところまちの特色と言えるかと思う。
- リーダー よろしいか。他にご質問やご意見はあるか。
- 委 員 東横インの隣にマンションができる他、山口銀行の跡と再開発事業にもマンションができるため、居住する人が増えてくると思う。その辺りも含めて今後の展開の仕方を考えていってはどうか。これまでとやり方が随分変わってくると思う。再開発事業では商業集積ができるが、他のところはマンションになる。これまでは商店街があればそこは商業であったが、マンションが3つできる現状を踏まえて、今後の事業展開や計画の仕方などを考えていく必要があるのではないか。
- 事 務 局 先ほどのまちの特色の件もあるが、資料 P. 7 にゾーン別の特徴を整理している。中心市街地の通りやエリアによってそれぞれ顔が違ってくる。只今のご意見のように F U J I の前に今から2つのマンションが建つという状況であり、ある程度居住の区域になってくると思われる。その方々にまちの中でどのように動いてもらうか。エリアや通りにある程度の特色を持たせながら今後の方針を検討していく必要があると考えている。
- 委 員 高齢化してきているためできれば病院が増えて、これだけ公共交通が発達しているためお年寄りの方が電車に乗って病院に来るといようなことに対してどのようなまちづくりをしていくかということも一つ視野に入れた方がよいのではないか。
- 事 務 局 上位計画の都市計画マスタープラン等においても、都市居住を推進する形になっている。コンパクトなまちを目指す中で、都市が持っている高次機能を活かして快適な生活を営んでもらうというものでもあるため、若い方も必要であるが、高齢の方がたくさん住まわれたときには医療機能も必要になるため、機能として必要なものはこのエリアに入ってこられるようにしておく必要がある。
- 委 員 サービス付き高齢者向け住宅をつくるなどはニーズが高いと思う。
- 事 務 局 特に高齢の方はまちに来て何でも揃っている方が生活しやすいということはあると思う。

- 委員 本通りの立場でいうと、公共交通機関を使う方が増えてくると、具体的に、横断歩道の青信号の時間を長くするなどの対策が必要になってくる。上位の方針を具体化した対策を盛り込んでほしい。南地区はどうか。
- 委員 商業については昔みたいに商売が上手くいかないエリアでシャッターを閉めているところも多い状況だが、なぜかマンションには皆お金を出す。昭和の時代は商売に向いている麻里布町だったが、令和の時代は違う状況になっている。
- 委員 利便性が高いのだろう。
- 委員 人絹町地区にもマンションができていますが売れている。
- 委員 行政には現実を踏まえたプランをお願いしたい。今そういうときに昔ながらの商店街をつくっていかうとしても具体的には反映できない。JRは高齢者の利用は増えているか。
- 委員 当然車に乗られる方もおられるが、高齢者だけで外出される方の利用もある。
- 委員 そうすると滞在性や回遊性の向上はどうなのか。
- 委員 人が住んでにぎわいが生まれればそこに新しい商業が出てくるかもしれない。
- 事務局 商業エリアであるため外から人を呼び込むことは重要ではあるが、そこに住んでいる方が生活しやすいにぎわいについてもまちのにぎわいにつなげていけるよう、外からと中からの2つの目線で考えていきたい。高齢者の方が増えてくると、安全の目線も必要になってくると思う。
- リーダー バリアフリーの目線が大切になってくる。他にはいかがか。
- 委員 街づくり岩国が駅前地主や店舗の人を集めて勉強会などをされているが、現状がどうでこれからどうなるかといったことは一部の人しか知らない。その辺りはもっと丁寧に共有していく必要がある。
- リーダー 広報が大切ということかと思う。市民の皆さんが知らない活用できないということがある。
- 事務局 第2期計画においてもメインのテーマに据えて実施してきた。第3期においてもそういった目線は引継ぎながら、まちのみんなで考えてみんなで進めるというようなまちづくりの計画にしていきたい。
- 委員 人絹地区に東小学校・中学校ができたが、今後どういう立ち位置で考えていくのか。小中一貫校といえはこの地区にしかないため、まちづくりに活かすべきではないか。小中一貫校の効果で人口は増えているのか。
- 委員 来年度から、装港小学校が東小学校に移り、海側の地区は東小校区になる。
- 事務局 中心市街地のエリアにおいて小中学校があるのは東地区だけになる。周辺は住宅が張り付いているようなエリアで、中活エリアの中では文教ゾーンといったエリアになる。近くにはシンフォニア岩国もあり、そういった特色を活かせるようなまちづくりをしていければと思う。できれば小学生や中学生もまちづくりに関わっていただけるような形になるとよい。
- リーダー 引き続き、計画スケジュールに沿って進めていただきたい。

- ・ 策定に向けた今後の流れについて

(事務局より説明)

- ・ 次回は 11 月上旬に開催予定。